



啓明学院中学校

共に生き、共に学び、共に創り出そう

啓明学院は皆さんの共生、共学、共創の場でもあります。啓明で出会った仲間たちと共に生き、共に学び、共に創り出すことによって、決して奪われることのない自分の力をしっかりと蓄えてほしいと願っています。

共生

自分も他者も
生き生きとできる

共学

共創

多様性を認め合い 知識と発想を寄せ合い
異なる他者が一緒に学ぶ 良いものを創る

啓明学院中学の教育

人間としての土台をつくり、 基礎学力を鍛えます。

啓明学院は、世界の人困っている課題にチャレンジする、社会起業家精神にあふれたグローバルリーダーを、6年間かけて育てます。



メチャビー

中学に入学するとすぐに、啓明学院前島キャンプ(瀬戸内市牛窓町)でオリエンテーションキャンプがあります。泥んこになりながらひとつのボールを追うメチャビーなどのプログラムを通して、みんなすぐに仲良くなります。



めざしているのは全人教育です

私たちがめざしているのは全人教育です。知識だけ、運動能力だけ、そんな一部分ではなく、人間をまるごと与えられた学びに努めています。本校のスクールモットーは「手と心は神と人に仕えるために鍛えられる」です。「思いやりの心」がなくては真のリーダーになれません。愛と奉仕の心あふれる平和な世界を実現するため、キリスト教精神にもとづき人間力アップに取り組んでいます。

自学自習の習慣を育ててほしい

本校の授業は、知的好奇心を内面からあふれださせ、生きたインスピレーションを与えて心に点火させることが目標です。自分からテーマを見つけ、自分から勉強する自学自習の習慣を育ててほしいのです。そのためにも学力を鍛えて人間性を深め、学校生活を大いに楽しんでください。



失敗の経験も大きな財産になる

本校は「本を読み、友と交われ、汗をかけ」を合言葉に、協働の学びを実践しています。教師や先輩に感化されて目覚めた生徒は、関心や興味を広げていきます。圧倒的な体験の機会がみなさんを待ち受けています。門をたたき、チャレンジしてください。自分で自分を育てつづける姿勢が芽生えてくるに違いありません。

キリスト教教育

日々の礼拝が 建学の精神をはぐくみます。

少年少女の心に種をまく

キリスト教教育の柱になるのが礼拝です。毎日、チャペルで生徒も教師も神の前に集い、人としての生き方を考えます。礼拝は、自分を見つめ、振り返るひとときです。

そして、少年少女の心に種をまくのが聖書の授業です。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」

聖書の言葉は、青春だけでなく生涯を通して人生の支えになることでしよう。



奨励に耳を傾ける。



クリスマス礼拝で讃美歌を合唱。

読書教育

「読む」「考える」「書く」「話す」 自学自習の精神を育てます。

自学自習の方法と習慣を身につける

自分で課題を探し、自分で調べ、答えを見つけ、文章にまとめて発表し、人の評価を素直に聞く。これが学問の基本です。こうした自学自習の習慣を身につける練習を重ねます。読書の授業では、「読む力」をつけながら、「考える力」「書く力」「話す力」をはぐくみます。そして、教科の枠を超えたスタディスキル(学問する技術)の扉を開きます。

1年かけて自分の「著書」を仕上げる

2年生になるとリサーチ・レポートの型を学び、奈良での校外学習レポートを作成します。



3年生では、修学旅行をテーマに、資料を読み込み、カード化。現地で取材して、リサーチ・レポートにまとめます。本文を書きあげるだけでなく参考文献を明示し、表紙を描き、製本まで行います。1年かけて自分だけの「著書」に仕上げるのです。学内出版物として図書館の書架に並び、優秀作品は蔵書として残されます。

読書教育の内容	
中1	【基本となる読書技術の習得】 ・自分で本を探せるように図書館の分類法を学ぶ ・共通の読書体験を通じてパラグラフライティングの基礎を学び、その成果を「ブック・レポート」として作成する
中2	【情報活用・読書技術の訓練】 ・パラグラフごと構成された書評である「ブック・レビュー」を作成する ・新書や事典、Web情報などさまざまなメディアの活用方法を訓練する ・「リサーチ・レポート」にむけて、レポートの型を学ぶ
中3	【論文作成と成果の共有】 ・自らの課題(テーマ)を決定し、基本参考文献を入手する ・基本参考文献を読み解き、それを「ノートカード」に記録していく ・「ノートカード」から「リサーチ・レポート」を完成させる ・各自のレポート内容をプレゼンテーションして成果を共有する
高校	楽しむ読書(初級読書)と読書技術の体系をベースに、より深い探究学習である「学術研究」へと発展していきます

英語教育

グローバルリーダーとして日本の文化を 英語で語れる人になる。

「話す」「聞く」英語環境がここにある

啓明学院は国際校を名乗ってはいませんが、多くの帰国生や留学生を受け入れています。英語を母国語とする教師もおり、英語を話したり聞いたりする環境に恵まれています。

1年生の英語キャンプには高校生や留学生がリーダーとして参加しています。英会話の授業では積極的なコミュニケーションの機会を増やす工夫をしています。

「読む」「書く」はe-Bookの多読から

パソコンやiPadで読むe-Book。レベルは10段階。文学、歴史、科学など豊富なジャンルの中から、自分のレベルに合わせて1冊を選びます。最初にその本のキーとなる5単語の意味を学びます。本文はネイティブが読んでくれるので、読みながら「聞く」も同時に学習できます。

読書が終わると理解度をはかるテストがあります。家庭でも読めます。どのような本を何冊読んだか、テスト結果も含めて教師のもとへデータが送られてきます。

中学では英語の4技能の基礎を徹底的に学び、英検準2級の取得をめざします。



英語の4技能を1年生からいねいに学びます。

理数教育

「なぜ?」に気づく感性を育て、 考え方の道筋と科学の奥深さを学びます。

世界を少しでもよくするために

すべての学問は、「なぜ?」から始まります。その「なぜ?」を、理論(頭で考える)と実験・観察(実際に試してみる)を繰り返しながら、追究してきたのが科学の世界です。昔から人間は科学の知恵を生かして、さまざまな問題を解決してきました。

「算数」から「数学」へ

数学ではまず、「負の数」を理解します。そして、文字を使って式を立て、思考の道筋を示しながら、問題を解いていきます。「知識」を習得するだけでなく、論理的に考える思考力を身につけます。

6年一貫教育を生かして

理科は、1年生では実験・観察などを中心に授業を行い、小学校で学んだ基礎的な知識や技術をさらに発展させます。それに続く2年間は、各分野に分かれて系統的に学び、高校に進むとさらに論理的な思考を深めます。

2021年度から1年生の理科と2・3年生の数学の授業を週1時間ずつ増やしました。6年一貫の環境を最大限に生かし、科学の不思議に触れる面白さ、問題を解く達成感を豊かに味わってほしいと願っています。



中学生も電子黒板を使って授業。生徒の理解力を高めます。

ICT教育

コンピュータやインターネットの 基礎を学びます。

1人1台のiPadが学びの扉を開きます

入学すると1年生は全員「情報基礎」の授業を受けます。コンピュータやインターネット、電子メールの基礎知識や操作方法を身につけます。

GIGAスクール構想による国からの補助を受けて、iPadを1人1台全員に持たせています。Wi-Fiと電子黒板も全教室に設置、授業に活用しています。



iPadは授業だけでなく家庭学習にも活躍しています。



生徒証は、関西学院大学図書館の閲覧証も兼ねています。西宮・上ヶ原キャンパスにある関西学院大学図書館(開架式180万冊)を利用できます。入学後すぐに図書館の見学と利用指導を受けます。



関西学院大学の図書館を見学、中高大連携がすぐに始まります。

芸術教育

自分を表現する力を養い、インスピレーションの不思議さを体で感じます。

美しいと感じる心、感動する心を育てます

心に染み入る歌声が打ちひしがれた心をよみがえらせる、そんな力が芸術にはあります。芸術の楽しみは、日々の生活にうらおいをもたらし、人生の幅を広げ、世界中に友達をつくります。

多感な思春期に、真なるもの、善なるもの、美なるもの、聖なるものに触れることを、何よりも大切にしています。



授業で金管楽器にも触れます。



陶芸家の指導により完成した陶芸作品は、前島・啓明窯で見事な備前焼になります。

体育・スポーツ

チャレンジ精神を発揮するために健康と体力を養います。

かけ足が日課です

どんな場所、どんな条件のもとでも、自分の力を存分に発揮するためには、健康と体力が不可欠です。

啓明学院中学校では、6時間目終了後にかけ足を行います。仲間や先生たちと共に汗を流す中で、自分と向き合います。3年間の取り組みで心身ともに力がつき、スポーツに目覚める生徒も増えています。



体育祭



2月に行われるマラソン大会

カリキュラム

週5日の必修授業と土曜講座

月曜日から金曜日まで、週5日・32時間の必修授業を行います。土曜日は、講座制の授業に取り組みます。(2023年度入学生に予定しているカリキュラムです。)

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
1			
2	国 語	国 語	国 語
3			
4			
5			
6	社 会	社 会	社 会
7			
8			
9	数 学		
10		数 学	数 学
11			
12			
13	理 科		
14		理 科	理 科
15			
16	音 楽		
17		音 楽	音 楽
18	美 術	美 術	美 術
19	保 健 体 育		
20		保 健 体 育	保 健 体 育
21			
22	生 活 研 究		
23		生 活 研 究	生 活 研 究
24			
25			
26	英 語	英 語	英 語
27			
28			
29			
30	聖 書	聖 書	聖 書
31	読 書	読 書	読 書
32	H R	H R	H R
チャペルアワー			
土曜講座			

時間割 例:1年生

時間	曜日	月	火	水	木	金
			朝の読書・SHR			
1	8:25~8:40		朝の読書・SHR			
	8:40~9:25	国語I	数学II	体育	英語III	英語II
	9:35~9:55	礼拝 ※水はクラス礼拝				
2	10:05~10:50	理科I	理科II	数学I	数学II	英語I
3	11:00~11:45	英語I	音楽	技術家庭	体育	国語II
	11:45~12:25	昼休み ※昼食前に食前感謝				
4	12:25~13:10	数学I	聖書	英語III	音楽	美術
5	13:20~14:05	英語III	社会I	国語I	社会I	体育
6	14:15~15:00	読書	国語II	英語I	理科I	理科II
7	15:10~15:55	社会I	かけ足	H.R.	かけ足	かけ足

土曜講座

1時限 (100分)	8:45 ~ 10:25 (10分の休憩を含む)
礼 拝	10:35 ~ 10:50 (15分)
2時限 (100分)	11:00 ~ 12:40 (10分の休憩を含む)